

第36回新潟県高等学校総合文化祭・放送部門

第35回新潟県高等学校放送コンクール

第42回QK杯校内放送コンクール

第19回北信越高等学校選抜放送大会・長野大会 新潟県代表選考会

第47回全国高等学校総合文化祭・鹿児島大会放送部門 新潟県代表選考会

実 施 要 項

主催 新潟県高等学校文化連盟 NHK新潟放送局（JOQK）
共催 新潟県教育委員会 新潟県高等学校教育研究会視聴覚部会
主管 新潟県高等学校文化連盟放送専門部

1 日時 令和4年11月6日（日） 9:00～17:00

2 会場 新潟明訓高等学校

〒950-0116 新潟市江南区北山1037番地

TEL. 025-257-2131 / FAX. 025-257-2077

3 日程 （予定…エントリー数により変更することがあります。）

※三密回避のため、開・閉会式・表彰式は行いません。結果は専門部WEBで発表します。

9:00~9:30 10:00 10:10 10:50 12:00 13:00 14:00 14:50 15:10 15:30 16:30 17:00

全 部 門 受 付	打 ち 合 せ	連 絡	ラ ジ オ 番 組	朗 読	昼 休 み	テ レ ビ 番 組	ア ナ ウ ン ス	講 評	連 絡	解 散・ 退 場	終 了	結 果 公 開
										審 査 作 業		

→9:35～審査員打合せ

→9:45～顧問打合せ

※受付時に、プログラムに記載されている学校名・氏名・作品名などに誤りが無いか、必ず確認をしてください。誤りがあれば受付または昼休みまでに本部に申し出てください。

4 実施部門および参加資格

(1) アナウンス・朗読部門

アナウンスは原則として郷土の話題を高校生に伝える内容の校内放送原稿を作成し発表します。

ただし、今大会においては校内の話題を校内の高校生に伝える内容も可とします。

朗読は、指定された作品を選び、発表します。

当日の課題原稿は、今回の大会では実施しません。

出場資格は新潟県内の高等学校の1,2年生（中等教育学校の4,5年生）で、参加校の人数制限はありません。

なお本選に先立ち、録音媒体提出による予選を実施します。

(2) ラジオ番組・テレビ番組部門

ラジオ番組・テレビ番組は原則として郷土の話題を高校生に伝える内容の校内放送用作品です。ただし、今大会においては校内の話題を校内の高校生に伝える内容も可とします。出場資格は新潟県内の高等学校の1,2年生（中等教育学校の4,5年生）が制作する作品で、各部門とも1校2作品までです。

5 参加申込方法

(1) 参加申込書を県高文連HPの放送専門部リンク <http://www.kobunren.jp/housou/> からダウンロードし、必要事項を入力の上Eメールにファイル添付して送信してください。

※この申し込みの時点で、参加料が確定します。

(2) 更にファイルを印刷し学校長印を押印した参加申込書を、次のいずれかの方法で、大会当日迄に提出してください。

- ①アナウンス・朗読原稿送付の時に同梱
- ②大会当日に受付にて提出

※送信先・問合せ先（大会主管担当）

a-umeda@niigata-meikun.ed.jp

（新潟明訓高等学校 梅田 愛子 宛）

送信締め切り日 令和4年10月24日（月）必着

6 提出するもの

(1) アナウンス・朗読部門

①原稿台本（1人につき7部）

1名につき、規定のA4袋とし（仕上がりA5製本）で作成してください。（コピーで増刷可）詳細は別紙「作品制作規定」を参照してください。

②予選審査用の音声データ

各部門とも、1名につき1ファイルで作成し提出してください。

ストレージサービスやファイル転送サービス利用して提出してください。

メモリーによる郵送での提出も可能です。フルサイズのSDカードに保存（複数の部門の作品の保存可）して①と同梱にて提出してください。SDカードは返却します。任意でCD-Rの提出も可能です。詳細は別紙「作品制作規定」を参照してください。

③予選結果・講評・SDカード等の返送用封筒 [返信先記載・切手貼付済のもの]

返送する講評用紙の量も多いので「レターパック」をお勧めします。（「レターパックライト」可）※アナウンス部門で静止画映像の投影は行いません。

④提出先・問合せ先（大会主管担当）

〒950-0116 新潟市江南区北山1037番地

新潟明訓高等学校 梅田 愛子 宛

TEL. 025-257-2131 / FAX. 025-257-2077

提出締め切り日 令和4年10月26日（水）消印有効・または直接持参可

(2) ラジオ番組・テレビ番組部門

①番組作品データ

各部門とも1作品につき1ファイルで作成してください。

②番組進行表・CUEシート等(1作品につき2部)

規定のA4プリントで、折らずに左上綴じにします。

番組における著作権処理は、制作校の責任において処理してください。

●楽曲著作権は「JASRAC等の手続書」

●写真、資料等の著作隣接権は「関係各所の許諾書」

をそれぞれにとってコピーを最後に綴じ込んでください。

原稿様式は「NHK杯全国高校放送コンテスト」に準じてください。

③両部門とも、作品規定を参照してください。

④提出方法

事前提出は、ストレージサービスやファイル転送サービス利用して提出してください。

大会当日の提出はフルサイズのSDカードに保存(複数の部門の作品の保存可)提出してください。

任意ですがCD-R、DVD-RまたはBD-Rをバックアップとして提出することを推奨します。

⑤提出先・問合せ先(大会主管担当)

〒950-0116 新潟市江南区北山1037番地

新潟明訓高等学校 梅田 愛子 宛

TEL. 025-257-2131 / FAX. 025-257-2077

提出締め切り

大会当日に持参可能です(11月6日・9:30迄に受付提出)

事前提出は、令和4年10月26日(水)から11月2日(水)16:00までに提出

またはSDカード等を直接持参も可能です(詳細は別紙「作品制作規定」参照)

※大会当日の受付時でも提出が可能ですが、当日提出の締め切りは9:30です。

提出に間に合わない、バックアップディスクも含め再生不能となった場合は失格です。

※大会申込後の作品タイトルの変更は10月30日(日)までをお願いします。以後、申込と大会当日のタイトルに差異があった場合は、失格もしくは減点の対象となります。

※事前提出後の、作品の再提出は原則としてできません。

※別紙「作品制作規定」を参照してください。

7 アナウンス・朗読部門の予選審査

①本選前に、予選審査を10月30日(日)に非公開で実施いたします。

②予選通過者が本選の出場資格者となります。

③審査結果と講評用紙とSDカードを郵送返却します。

④予選通過者は、両部門ともそれぞれ40名程度の見込みです。

⑤11月2日(水)までに結果が届かない場合は、担当の新潟明訓高校の梅田にご連絡ください。

8 参加料

(1) 以下の参加料を、下記の口座に**10月26日(水)までに振り込んでください**
(振込手数料は各校負担)

参加料

- | | | |
|--------------|--------|--------|
| ①アナウンス・朗読部門 | 1名につき | 1,000円 |
| ②ラジオ・テレビ番組部門 | 1作品につき | 2,000円 |

参加料送金先

【銀行名】 ゆうちょ銀行 【店名】 一ニ八（イチニハチ） 【店番】 128
【預金種目】 普通預金 【口座番号】 2923593
(郵便振替の場合 記号：11220 番号：29235931)
【口座名義】 高文連放送専門部（コウブンレンハウソウセンモンブ）

(2) 参加費は、10月24日(月)までに参加申し込みをされた人数・作品数で徴収します。
出場辞退及び予選不通過の場合でも納入していただきますことをご了承ください。

9 朗読部門指定作品

- ①「小川未明童話集」 小川未明 (新潮文庫) 改版 (1951/11/13)
短編のどの作品でも良い
- ②「峠」(上・中・下) 司馬遼太郎 (新潮文庫) 改版 (2003/10/25)
上巻・中巻・下巻のどの本でも良い
- ③新潟県にかかわりのある作家・作品から選んだもの(出版社は問わない)
③の場合、昨年の指定作品及び、出場者が以前に参加した大会で扱った作品は除外すること。
新潟県との関わりの説明を、簡単に提出原稿表紙の指定欄に記入すること。

※電子書籍不可。

※朗読で使用する書籍は、大会の使用に関して著作権の手続きは必要ありません。

※著作者・出版社の権利を保護し、文化・芸術の発展に寄与するためにも、書籍の積極的な購入をお願いします。

[参考：昨年度の指定作品]

- (1)高田由紀子「君だけのシネマ」 (PHP研究所)
- (2)綾崎 隼「君を描けば嘘になる」 (角川文庫)

10 表彰

【入賞】

入賞は各部門とも、今年4月1日現在で新潟県高等学校文化連盟に加盟している学校を対象とし、

- NHK新潟放送局から 1位～3位を入賞として表彰。
- 新潟県高等学校文化連盟から 1位～3位を入賞として表彰し、加えて
アナウンス・朗読部門の各3名に奨励賞を入賞として表彰。
テレビ番組部門の1作品に奨励賞を入賞として表彰します。

【その他】

連盟への加盟に関わらず、各部門に放送専門部による審査員特別賞を、若干数表彰する場合があります。

11 選考による上位大会推薦枠と手続きについて

【推薦枠・推薦方法】

上位大会へは今年4月1日現在で新潟県高等学校文化連盟に加盟している学校から推薦します。

1. 第47回（令和5年度）全国高等学校総合文化祭・鹿児島大会の放送部門「新潟県代表」に、入賞者、入賞校の中から下記の通り推薦します。

（令和5年8月3日（木）～4日（金）実施）

全	アナウンス部門……………3名
国	朗 読 部 門……………3名
総	オーディオメッセージ部門……………ラジオ番組部門制作校より1校
文	ビデオメッセージ部門……………テレビ番組部門制作校より2校

2. 第19回（令和4年度）北信越高等学校選抜放送大会・長野大会の「新潟県代表」に、入賞者、入賞校の中から下記の通り推薦します。

（令和5年2月4日（土）～5日（日）実施）

北	アナウンス部門……………6名
信	朗 読 部 門……………6名
越	オーディオメッセージ部門……………ラジオ番組部門制作校より2校
	ビデオメッセージ部門……………テレビ番組部門制作校より4校

【上位大会出場推薦の意思表示と出場辞退について】

1. 原則として、当大会出場者の上位入賞者を北信越大会及び全国大会に推薦します。
2. 推薦された方・学校は、上位大会出場の権利を得るとともに、上位大会出場の義務も生じることをご承知ください。
3. 上位大会推薦後に出場を辞退する場合は、以下の期日までに放送専門部委員長・高澤晃（中越高校）へ、当該校の顧問から直接電話で申し出てください。

（ア）北信越大会の辞退：令和4年11月11日（金）午後3時まで

（イ）全国大会の辞退：令和4年11月11日（金）午後3時まで

※これ以降の辞退は、県高文連事務局の事務作業に支障を来し、欠員の補充ができなくなる場合があります。上位大会出場の県内枠が無駄になるとともに、上位大会の開催県に迷惑をかけることとなります。御理解と御協力のほど、お願い致します。

4. 全国総文の手続き手順と日程について

- | | | | |
|----------|------------|------------|-------------|
| ①放送専門部 | 「全国総文推薦」提出 | → 県高文連事務局へ | 11月21日(月)締切 |
| ②県高文連事務局 | 「参加推薦」連絡 | → 参加校へ | 12月9日(金)迄に |
| ③参加校 | 「参加承諾」提出 | → 県高文連事務局へ | 1月19日(木)締切 |

12 上位大会について

(ア)第19回北信越高等学校選抜放送大会・長野大会について（大会の詳細は後日連絡）

- ①期 日：令和5（2023）年2月4日（土）～5日（日）
- ②会 場：「岡谷市文化会館 カノラホール」〒394-0029 長野県岡谷市幸町8-1
- ③大会宿舎：「RAKO 華乃井ホテル」〒392-0022 長野県諏訪市高島2-1200-3
- ④そ の 他：新潟県選手団として貸切バスで移動・宿泊の予定 費用概算¥18,000 程度

(イ)第47回全国高等学校総合文化祭・鹿児島大会について（大会要項別紙）

- ①期 日：令和5年8月3日(木)～4日(金) ※8月2日出発・5日帰着
- ②会 場：「かごしま県民交流センター」〒892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町14番50号
- ③交通手段：新潟県選手団として航空機・JR線で移動
- ④大会宿舎：「鹿児島サンロイヤルホテル」〒890-0062 鹿児島県鹿児島市与次郎1丁目8-10
- ⑤旅費概算：宿泊費3泊（朝夕食込み）及び往復交通費計¥143,740
- ⑥そ の 他：今後、大会開催の可否・開催形態の変更の場合あり

14 北信越大会出場者特別講習会

アナウンス部門・朗読部門の入賞者は、以下の日程の特別講習会への参加もご予定ください。

日時：12月18日（日）

会場：新潟県立新潟高等学校

オンライン講習で実施する場合があります。

詳細は後日お知らせいたします。

15 別紙資料

- ①第42回QK杯校内放送コンクール作品制作規定 (P. 7～10)
- ②QK杯校内放送コンクール審査基準各部門の審査基準 (P. 11～13)
- ③添付書類
 - (ア) QK杯参加申込用紙・記入例 (P. 14～15)
 - (イ) QK杯アナウンス・朗読部門原稿用紙 (P. 16)
 - (ウ) 新型コロナウイルス感染拡大防止による大会の実施について (P. 17)

以上

第42回QK杯校内放送コンクール作品制作規定

1. アナウンス部門

(1) 原則として、郷土（新潟県）の話題を高校生に伝える内容（今大会においては校内の話題を校内の高校生に伝える内容も可）の自作原稿とし、エントリー番号、学校名、氏名も含めて、1分30秒以内でアナウンスします。

※来年度全国高校総合文化祭のテーマに沿いました。

- ・静止画像の投映はありません。
- ・効果音、BGMは、使用できません。

(2) 今回の大会では、当日の課題原稿による発表は実施しません。

(3) 予選審査用に録音データを提出してください。

- ①ファイル名には「学校名・部門名・番号・出場者名」を記載してください。
- ②「番号」は参加申込書に記載した「予選録音順番」とし、録音ではエントリー番号の代わりに、この番号を読んでください。

2. 朗読部門

(1) 指定作品（3作品）の中から1作品を選び、本文のみを1分45秒以内で朗読します。

エントリー番号、学校名、氏名、作者名および作品名は読みません。

(2) 原作文の脚色・変更は認めず、原文通り抽出し、文頭から開始して文末で終了させます。

なお、本文中の（ ）内は読み、読み仮名は読みません。

(3) 今回の大会では、当日の課題原稿による発表は実施しません。

(4) 効果音、BGMは、使用できません。

(5) 予選審査用の録音データは、アナウンス部門の（3）と同様です。

3. アナウンス・朗読部門の、提出原稿の作り方

アナウンス・朗読部門は、指定された用紙を使用してください。

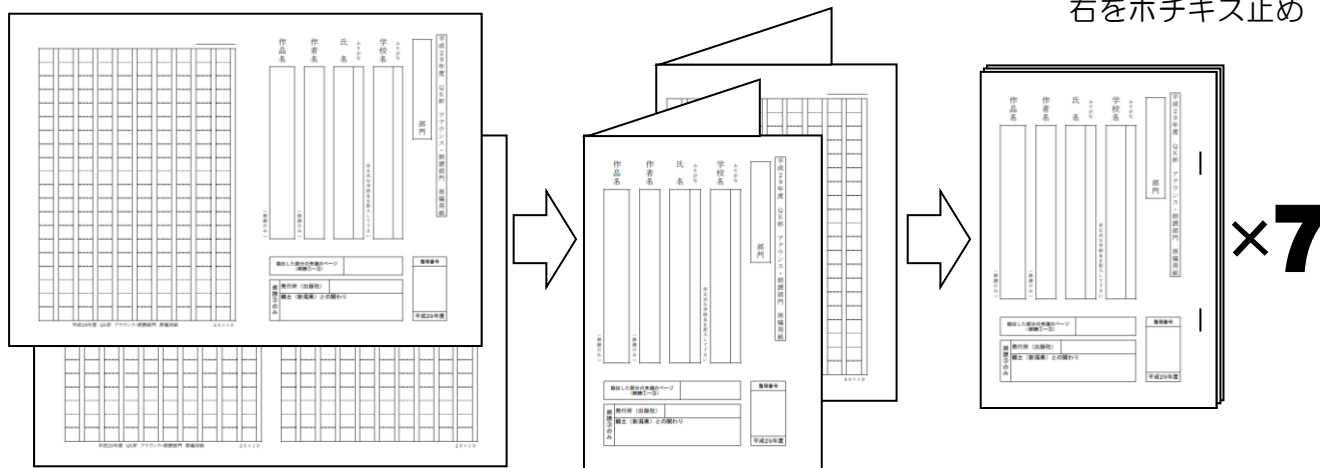
（県高文連放送専門部のHPからダウンロードできます。）

①各、A4サイズで印刷・作成

②各、二つ折り

③袋綴じで

右をホチキス止め



※コピーするなどして、1人の出場者につき7部ずつ作成・提出してください。




4. アナウンス・朗読部門の音声データ規格

- ①WAVやMP3形式で録音したデータを提出してください。
- ②録音の際は、高音質での録音をしてください。
 - (ア) ICレコーダーなどの録音形式を、高ビットレートによる高音質で録音してください。
 - (イ) なるべく周囲の音が入らないように気を付けて録音してください。
- ③ファイル名指定の方法 ※出場者ごとにファイルを作ってください。

ファイル名は「学校名_部門と番号_氏名」でお願いします。

例：越後高等学校 アナウンス 1番 百田川夏菜子 の場合、
越後高校_アナ01_百田川夏菜子.wav としてください。

(高校名+「アガバ-」(半角)+部門+番号(半角2桁)+「アガバ-」+氏名.(ドット)+wav)
- ④ストレージサービスやファイル転送サービスを利用して提出してください。
- ⑤メモリーによる提出も可能です。フルサイズのSDカードに保存(複数の部門の作品の保存可)して提出してください。
- ⑥バックアップ用として、オーディオCD-R(CD/DA形式)の提出は任意です。

【データ提出のイメージ】	
	<ul style="list-style-type: none">・ストレージサービスやファイル転送サービスを利用して提出することができます。URLなどのダウンロード情報を、当番校に連絡してください。
	<ul style="list-style-type: none">・SDカードに保存(複数の部門の作品の保存可)して提出することができます。・フルサイズのSDカードを用意してください。・ケース等に入れて、<u>カードとケースには学校名を記載</u>してください。・SDカードは返却します。
	<ul style="list-style-type: none">・任意でディスクをバックアップ用として提出することができます。・部門ごとに作成し、データ形式ではなく、音楽CD(CD/DA)形式で作成してください。ディスクは返却します。・データや原稿の提出と同時に提出してください。

5. ラジオ番組部門

- (1) 原則として、郷土に関する話題を全国の高校生に伝える(今大会においては校内の話題を校内の高校生に伝える内容も可)オリジナル作品とし、内容・手法は自由です。
- (2) 規格は、次のとおりとします。
 - ①制作時間は**4分以内**とし、データを提出します。
 - ②デジタル静止画像の使用はありません。
 - ③音声レベルは、**-6db**を基準として作成してください。

基準音ファイルを放送専門部ホームページからダウンロード可能です。
 - ④本編の前後に**5秒間**の無音部分を作成してください。無音部分は制作時間に含まれません。
 - ⑤本編の最後に「…制作は〇〇高等学校放送部(研究会、委員会等)でした。」と、音声でクレジットコールを入れてください。
 - ⑥計時(尺)は、はじめの音声開始から計り、クレジットコールのおわりまでとします。
 - ⑦クレジットコールに、BGMや番組の音声などが被らないようにしてください。

(3) ラジオ番組部門データ規格

- ①WAVやMP3形式で作成したデータを提出してください。
- ②ファイル名指定の方法 ※作品ごとにファイルを作ってください。
ファイル名は「学校名_部門と番号_作品タイトル」でお願いします。
例：越後高等学校 ラジオ番組 1番 信濃川の流れとともに の場合、
越後高校_ラジオ01_信濃川の流れとともに.wav としてください。
(高校名+「アガバ-」(半角)+部門+番号(半角2桁)+「アガバ-」+タイトル.(ドット)+wav)
※番号は参加申込書の「番号」です。
- ③事前提出は、郵送のほかストレージサービスやファイル転送サービスを利用して提出してください。
- ④大会当日の提出は、メモリーカードで提出してください。フルサイズのSDカードに保存(複数の部門の作品の保存可)して提出してください。
- ⑤大会当日の受付時でも提出が可能ですが、当日提出の締め切りは9:30です。提出に間に合わない、データおよびバックアップディスクで再生不能となった場合は失格です。
- ⑥バックアップ用としてオーディオCD-R(CD/D A形式)の提出を推奨します。
提出の場合は、市販の家庭用プレーヤーを使っての再生を確認して下さい。

6. テレビ番組部門

(1) 原則として、郷土に関する話題を全国の高校生に伝える(今大会においては校内の話題を校内の高校生に伝える内容も可)オリジナル作品とし、内容・手法は自由です。




(2) 規格は、次のとおりとします。

- ①制作時間は4分30秒以内とし、データを提出します。
- ②画面サイズはFHD(解像度1920×1080)以内とし、アスペクト比は「16:9」です。
- ③音声レベルは、-6dbを基準として作成してください。
基準音ファイルを放送専門部ホームページからダウンロード可能です。
- ④本編の前後に各5秒間の静止画によるテストパターンを録画します。(形式は自由)
- ⑤本編の最後に学校名を文字で明記したエンドクレジットを入れて下さい。
- ⑥計時(尺)は、初めテストパターン終了から計り、終りのテストパターン開始までとします。
- ⑦作品とテストパターンの間にトランジッションなどの動きのある部分を設けしないで下さい。
- ⑧バックアップ用にDVD-RやBD-Rの提出を推奨します。DVD-Rの場合は、DVD-VIDEO形式で記録し、ファイナライズ処理をしてください。
(ア)ディスク作成時は「メニュー」をつけないでください。
(イ)市販の家庭用プレーヤーを使っての再生を確認して下さい。

(3) テレビ番組部門データ規格

- ①H.264やMpeg2形式など、高品質画像で作成したデータを提出してください
- ②ファイル名指定の方法 ※作品ごとにファイルを作ってください。
ファイル名は「学校名_部門と番号_作品タイトル」でお願いします。
例：越後高等学校 テレビ 1番 弥彦山の頂上を目指せ の場合
越後高校_テレビ01_弥彦山の頂上を目指せ.mp4 としてください。
(高校名+「アガバ-」(半角)+部門+番号(半角2桁)+「アガバ-」+タイトル.(ドット)+mp4)
※番号は参加申込書の「番号」です。

- ③事前提出は、ストレージサービスやファイル転送サービスを利用して提出してください。
- ④大会当日の提出は、メモリーカードで提出してください。フルサイズのSDカードに保存（複数の部門の作品の保存可）して提出してください。
- ⑤大会当日の受付時でも提出が可能ですが、当日提出の締め切りは9:30です。提出に間に合わない、データおよびバックアップディスクで再生不能となった場合は失格です。
- ⑥バックアップ用として、DVD-RやBD-Rの提出は任意です。

【データ提出のイメージ】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレージサービスやファイル転送サービスを利用して提出することができます。URLなどのダウンロード情報を、当番校に連絡してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・SDカードに保存して提出することができます。締切りに注意。 ・フルサイズのSDカードを用意してください。 ・ケース等に入れて、<u>カードとケースには学校名を記載</u>してください。 ・SDカードは返却します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクをバックアップ用として提出することを推奨します。 ・データ形式ではなく、プレーヤーでの再生可能なDVD-VIDEO等の形式で作成してください。ディスクは返却します。 ・データの提出と同時か、大会当日に受付で提出してください。

7. ラジオ番組・テレビ番組部門の様式

【番組部門の進行表・CUEシート等の作り方】

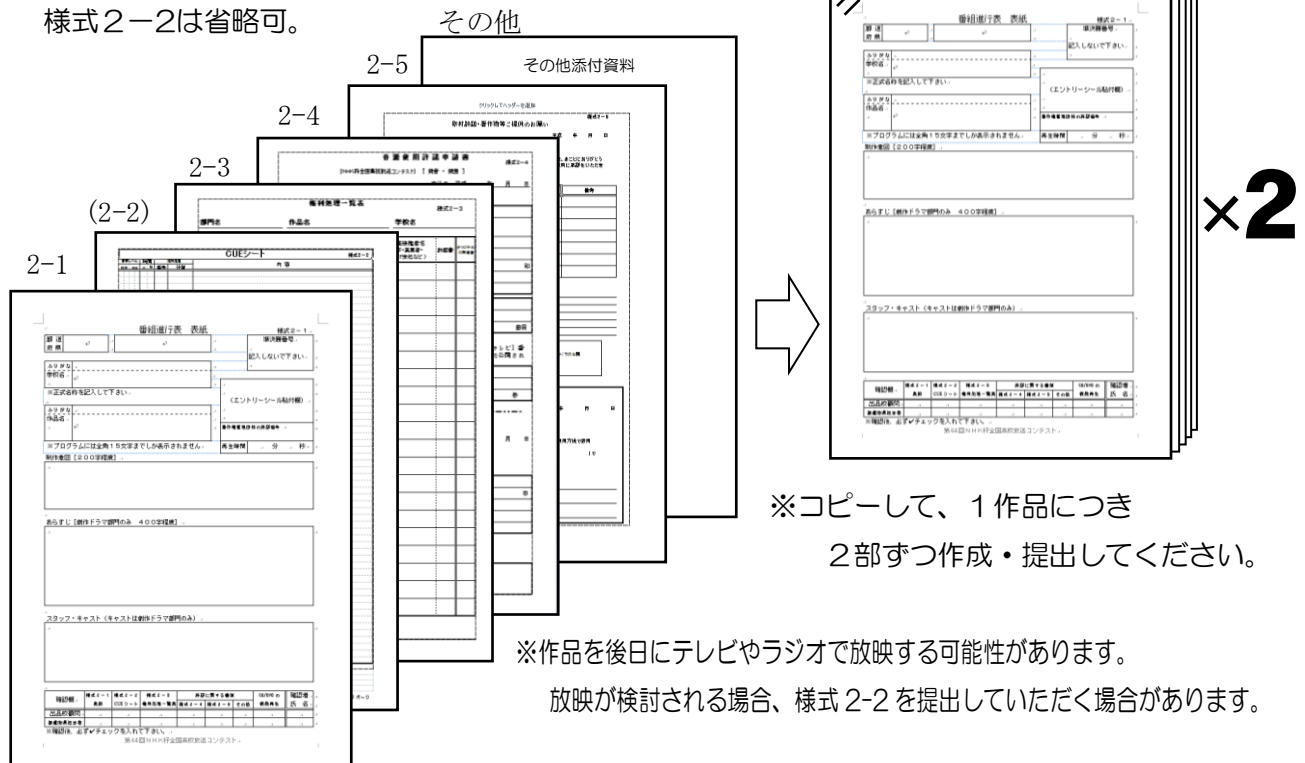
番組部門の進行表・CUEシート等は、NHK杯全国高校放送コンテスト要項に準拠します。

(NHK杯全国高校放送コンテストのホームページよりダウンロードできます。)

- ①様式2-1～2-5各、A4サイズで印刷・作成
- ②用紙の左上をホチキス止め

※様式2-1・2-3は必須。2-4・2-5及びその他は必要に応じて作成。

様式2-2は省略可。



※コピーして、1作品につき
2部ずつ作成・提出してください。

※作品を後日にテレビやラジオで放映する可能性があります。
放映が検討される場合、様式2-2を提出していただく場合があります。

第42回QK杯校内放送コンクール 各部門の審査基準

1. アナウンス部門

- (1) 原則として郷土の話題を全国の高校生に伝える内容であること（今大会においては校内の話題を校内の高校生に伝える内容も可）。当日課題はありません。
- (2) 審査の視点
- a. 内容
 - (ア) 素材の選び方は適当であるか。
 - (イ) 文章表現は適当であるか。
 - b. アナウンスの技術
 - (ア) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか。
 - ・発声・発音・マイクの使い方
 - (イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができているか。
 - ・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント
 - (ウ) 間（ポーズ）は適切か
 - ・テンポ・ポーズ
- (3) 採点は100点法とし、(2) a、b、に留意し、総合的に採点する。
- (4) 審査の留意事項
- ・自然な語りかけで、伝達力・説得力のあるアナウンスを高く評価する。
 - ・基礎的・基本的事項に不備があるものには高い評価をしない。
(特に鼻濁音、無声化、語尾ののび、イントネーション（始高終低）等について)
 - ・元気があり明るく演示するものは良いが、歌い上げ・作り声のものを高く評価しない。

2. 朗読部門

- (1) 指定作品の中から1編を選び、自己の表現したい部分を抽出のうえ、規定時間内で読む。作品の脚色は認めない。当日課題はありません。
- (2) 審査の視点
- a. 内容
 - (ア) 作品の選定は適しているか。
 - (イ) 朗読として適切な部分を選定しているか。
 - b. 朗読の技術
 - (ア) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か。
 - ・発声・発音・マイクの使い方
 - (イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができているか。
 - ・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント
 - (ウ) 間（ポーズ）は適切か
 - ・テンポ・ポーズ
- (3) 採点は100点法とし、(2) a、b、に留意し、総合的に採点する。

(4) 審査の留意事項

- ・自然で深みのある朗読を高く評価する。
- ・基本的事項に不備があるものには高い評価をしない。
(特に鼻濁音、無声化、語尾ののび、イントネーション(始高終低)等について)
- ・作り声、過度の感情移入、あるいは自分一人で酔っているような朗読については厳しく評価する。
- ・過度のラジオドラマ調、演劇調、一人芝居調のものを高く評価しない。

3. 読みの部門の点数の目安

(ア) 審査員の点数の目安は、以下の基準で行う。

点数	レベル	ランク
90点以上	プロレベル	プラチナ
80～89点	全国大会入賞レベル	金
70～79点	全国大会出場レベル	銀
60～69点	全国大会出場予備軍	銅
50～59点	校内放送実戦レベル	—
40～49点	校内放送練習レベル	—
39点以下	基礎力養成レベル	—

(イ) 審査終了後、参加者にランクを伝える。(点数は伝えない)

(ウ) 審査終了後、失格も伝える

4. 読みの分野の規定違反について

(ア) アナウンス・朗読部門の規定時間超過(計時の2人共が、2秒以上超過は失格)

(イ) 不適切な表現(差別的な表現、商品名の連呼、残酷な表現等)について(20点の減点)

(ウ) 作品、ニュース内容の根幹に関わるような大きな読み違い(20点の減点)

(エ) その他、様式違反、読み違い等は注意事項とする。

5. 番組部門

(1) 内容について

原則として、郷土に関する話題を全国の高校生に伝える（今大会においては校内の話題を校内の高校生に伝える内容も可）オリジナル作品とし、内容・手法は自由。

ラジオ・テレビの特性を生かして作品に表現していること。内容、手法は自由とする。

(2) 審査の視点について

(ア) テーマ

- ・原則として郷土に関する話題を取り上げた作品であること
- ・今大会においては校内の話題を校内の高校生に伝える内容も可とする

(イ) 制作技術：制作の手法、取材の方法や努力、企画構成、演出・編集、技術（録音・録画の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽や効果音の使い方など）

(3) 採点と順位について

- ・テーマに沿っていない場合は全国大会へは推薦しない場合がある。
- ・審査員は専門職を加えた5名程度とする。
- ・審査基準に従い、1点刻みの100点法で採点する。
- ・集計は5人の得点合計で順位を決定する。ただし同得点の場合は専門職の得点の高い方を上位とする。
- ・ただし、部門において、出品作品が少ない場合は審査員の合議により順位を決定することができる。

(4) 規定違反について

審査を公平に行うために下記のような処置を行う。（減点は合計点について）

- ・テーマに沿っていない・・・・・・・・・・県大会においては不問とする。
- ・著作権等の処理の不備・・・・・・・・・・審査員、事務局と協議（不問か減点か失格）
- ・不適切な表現方法（映像・音声）・・・・・・・・審査員、事務局と協議（不問か減点か失格）
- ・提出期限に間に合わない・・・・・・・・失格
- ・再生不能・・・・・・・・失格
- ・申込と大会当日のタイトルが違う・・・・・・・・失格もしくは減点
- ・その他、大会後においても、上記規定違反の他、重大な違反が判明した場合には賞の取り消しをすることがある。

6. 全部門共通

- ・集計係の役員審査員が運営役員と共に得点を入力し、タイムの超過や規定違反の確認をしたうえで、順位を決定し、審査員全員に周知確認し、部長に報告し決定する。
- ・氏名やタイトルの誤りが無いかを確認の上、表彰の発表を行う。

以上

【Q K 杯参加申込用紙・記入例】

第35回新潟県高等学校放送コンクール 兼 第42回QK杯校内放送コンクール 参加申込書 <small>この様式を入力し、データを大会当番校担当者へE-mailで送る。さらに、印刷・押印されたものを大会当日迄に提出してください。</small>							
学校名							
校長名						印	
記載者							
アナウンス部門	予選録音順番	学校名 <small>(自動表示)</small>	学年	氏名	よみがな	アナウンス原稿タイトル	
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
朗読部門	予選録音順番	学校名 <small>(自動表示)</small>	学年	氏名	よみがな	番号	朗読課題作品(番号を入力)
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
20							
ラジオ番組	番	学校名 <small>(自動表示)</small>	タイトル(全角15文字以内)			よみがな	
	1						
	2						
テレビ番組	番	学校名 <small>(自動表示)</small>	タイトル(全角15文字以内)			よみがな	
	1						
	2						
引率者名	学校名 <small>(自動表示)</small>	氏名	よみがな	※事務局使用欄			
1							
2							
3							
4							



※欄が足りない場合は、複数のファイルを使用してください。
 ※このシートは保護されています。行や列の挿入及び、行や列の削除の他、保護セルの変更はしないでください。

第35回新潟県高等学校放送コンクール 兼 第42回QK杯校内放送コンクール 参加申込書
この様式を入力し、データを大会当番校担当者へE-mailで送る。さらに、印刷・押印されたものを大会当日持参する。

学校名	新潟県立越後高等学校	
校長名	新岡 一郎	
記載者	長岡 花子	

記入例と記入上の注意

書類の提出時には校長の
職印の押印をお願いします

学年を入力すると、自動的に表示されます。

予選録音順番	学校名 (自動表示)	学年	氏名	よみがな	アナウンス原稿タイトル
1	新潟県立越後高等学校	1	有安川 杏果	ありやすかわ ももか	田舎ってサイコー！
2	新潟県立越後高等学校	2	玉井田 詩織	たまいだ しおり	稲穂の笑み
3	新潟県立越後高等学校	2	百田原 夏菜子	ももたわら かなこ	夕日の輝く時に
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

予選録音の順番と、表の順番を一致させてください。

NHK杯とは違い、北信越大会・全国総文では、タイトルが必要です。

SAMPLE
＜大会参加申込書記入例＞
ダウンロードしてご使用ください。

予選録音順番	学校名 (自動表示)	学年	氏名	よみがな	作品番号	作品名
1						
2	新潟県立越後高等学校	1	高城岡 れに	たかぎおか れに	2	峠
3	新潟県立越後高等学校	2	早川 あかり	はやかわ あかり	3	新潟県に緑の作家・作品 ※右に著者・作品名を記入 信濃川ちくま「川の流れに逆らっ」
4	新潟県立越後高等学校	2	柏木 幸奈	かしら けい	3	新潟県に緑の作家・作品 ※右に著者・作品名を記入 琵琶湖京子「えちご雪国街道物語」
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						

予選録音の順番と、表の順番を一致させてください。

作品番号のみを入力してください。
作品名は自動で表示されます。

作品番号3の場合は、著者名と書名を入力してください。

タイトルを入力すると、自動的に表示されます。

ラジオ番組	番	学校名 (自動表示)	タイトル(全角15文字以内)	よみがな
	1	新潟県立越後高等学校	行くぜっ！ 闘と少女	いくぜ！ かいとしょうじょ
	2	新潟県立越後高等学校	チャイム・マックス！	ちやいむ・まっくす

テレビ番組	番	学校名 (自動表示)	タイトル(全角15文字以内)	よみがな
	1	新潟県立越後高等学校	宿題が終わらない...	しゅくだいがおわらない
	2	新潟県立越後高等学校	走れ！ 走れ！ 走れ！	はしれ はしれ はしれ

引率者名	学校名 (自動表示)	氏名	よみがな	※事務局使用欄
1	新潟県立越後高等学校	川上 明	かわかみ あきら	※このシートは保護されています。行の挿入はできますが、行の削除の他、列の挿入や保護セルの変更は不可です。
2	新潟県立越後高等学校	古山 友美	ふるやま ともみ	
3				
4				

氏名を入力すると、自動的に表示されます。

部門	人数・作品数	参加料
アナウンス	3	¥3,000
朗読	4	¥4,000
ラジオ番組	2	¥4,000
テレビ番組	2	¥4,000
引率者人数	2	¥15,000

※大会参加料は、申込みの時点で確定します。
読みの分野で予選不通過の場合や、番組の分野で棄権の場合でも納入してください。

参加料と合計金額が自動で計算されます。

**第 42 回 Q K 杯校内放送コンクール兼第 35 回新潟県高等学校放送コンクールに於ける
新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針**

1. 出場生徒を最小限にとどめる
 - (ア) アナウンス・朗読出場者
 - (イ) 番組制作者の参加は最小限の人数とする
2. 大会への出場について
 - (ア) 陽性となった生徒、検査対象となり自宅待機を指示されている生徒及び発熱等の症状がある生徒を除き、大会への参加並びに大会会場へ来場させることができる。
 - (イ) 審査員他、顧問等の部活動関係者、運営職員も生徒に準じる。
 - (ウ) 学校が臨時休業期間中に参加する場合は、校長が県教育庁の保健体育課に報告すること。
 - (エ) 大会への参加並びに大会会場へ来場ができなくなったアナウンス・朗読部門の出場者は、学校からの申し出があれば、予選録音を代替として審査を受けることができる。
 - (オ) ラジオ・テレビ番組部門は、制作代表者が不在でも、作品の審査を受けることができる。
 - (カ) なお、基本方針は、今後の県教育庁の通知および、新潟県高等学校体育連盟・新潟県高等学校文化連盟の通知に従う。
3. タイムテーブルの簡素化
 - (ア) 開会式・閉会式・表彰式は、行わない。
 - (イ) 外郎合戦・ケーブル巻き選手権は、中止する。
 - (ウ) 大会結果は放送専門部の公式 HP に大会当日午後 5 時（予定）に公開する。
4. 感染防止対策
 - (ア) 大会前・後の健康観察記録
 - (イ) 当日の健康観察票の提出
 - (ウ) 当日の会場受付時での体温計測
 - (エ) マスクの着用
 - (オ) 手指のアルコール消毒
 - (カ) 受付生徒等運営生徒・職員のフェイスガード着装
 - (キ) マイクの消毒
 - (ク) 机などのアルコール消毒
 - (ケ) 換気の徹底
 - (コ) 昼食時の黙食の徹底
 - (サ) 三密の回避
 - (シ) 各種必要物品の準備（県高文連で一括購入）
 - (ス) その他、衛生管理全般については、会場の指示に従い、適宜配慮する。

以上

